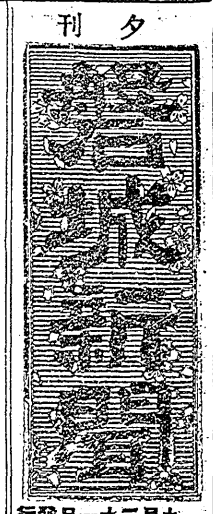
（文芸春秋十二月十二日発行 第三種郵便物認可）

昭和十四年九月二十二日　［金曜日］　第五千六百三十三號

夕刊

九月二十一日發行



九月雜記（下）

清水生

支那人は詩をあまり書かない。知不識に人間が出來てゆくので古人の語を書くことは難有いと思よ。

日本人は詩を書く。語は行書で書くがよく、詩は草行本人の成績が優秀だと聞いて書くがよい。書簡文も草て驚いた。字は支那人のもの書の味である。字は草書がのとばかり思つてゐたがかな一番面白い。しかし草書はかりよりも行書が適宜に交くと、日本には書道の規則ると一層面白くなる。楷書が守られてゐるからよいといて書いたものゝ中にも、ま行書體の字が交へてあつたさうである。所謂懸ると非常に柔か味が出てよ腕直筆といふやうなことはいものである。支那人の書にはあると小生は思支那人はもう無いといふはつてゐる。

字を習ふには楷書からじめるのが定石となつてゐる。それにちがひないが、ふりれど年を取つてから初ふ場合には楷書から行書體と習つてゆくには日暮れて遠い感がある。それでいきなり草書から習つて行つてよいと思よ。楷書から習よ場合でも楷書にあんまり年期を入れ過ぎると書家の字のやうになつてしまふから、楷行は一通りにしておいて草書をみつしりと習ふ方がよいと思よ。草書だけ習ふとしたらずいぶん年が密つてから習つても樂しめるものである。小生の伯父は七十歳くらいから義之の草書を習つて數年にして非常に味の深い字を書くやうになつてゐる。字は草書だけ習つてもよいものだといふことを知つたのはこの伯父の成績を見て知つたのである。字を習つてから伯のいふことが非常に含蓄をもつやうになつた。かく本

濱の秋

宮綾子

○暫くは海の淺瀬と野の黄とを隔つ林の松に沿ひゆく

○大麥の神のしらしゝ遠つ世の泉の池の白たへの水ゝ

○山にして立つ噴煙と異ならで底の泉ももくゝと噴く

○みかの原泉を汲みに來し人もにに立ちけん初秋の川

講談　振袖横町

須藤鐘一

（35）荻原萬象齋

わな（10）

今る今とて、五兵衛はその歸途梅吉にでも出逢はねばよいがと、ちよつと不安な氣がさしてゐた時だけに關の中から自分を呼ばれたので、ハッと足が立ちすくんでしまつた。

然し、その聲は聞き覺のある一造の聲のやうに思はれた。

一造一人ならば何に恐ろしがる必要はない、反つて

ある筈はねえでせう……』

『五兵衛さん、とぼけちや不可ねわよ、約束を忘れちやつたんですかい……』

『はてね、どんな約束がありましたかね』

『まだ女探しの駄賃は貰つてゐませんせ！あれを貰ひてゐんですよ』

『御冗談でせう――。あの一件はもう片付いたぢやわ』

『へえ？いつあの駄賃はくれたんですえ？』

『一造さん、よく考へてごらんなさいよ。なはどうも女を探してはくれもしたよ。ヤーど、梅吉とかと云ふ劍術使の弟子を引張つて、ひとの仕事の邪魔立をしたんぢやねえかいらと思つたので、よく駄賃を呉れもねえもんだ！一造さん、お前さんがそんな心持なら、ビタ一文だつてやる譯には行きませんよ。よゝんなことは、わつちの知つた事ぢやねえ……。どれ飛んだ邪魔者が飛び出して來やあがつて、歸りが遲くなつてしまつた。どれ〳〵お先へ參じませうか』

五兵衛は、今日島田伴十郎訪問に行き、もう約束を固めてしまつたのから、梅吉なんて男がどんなにじたばたしたとし

怖くないと思つてゐるので強氣にかう云つた。

『あれやあ……』

『ありやも、これやも、ないでせう。もう駄賃なんざあ入らねわつてんで、あんな邪魔をしたんでせう……あんたには、梅吉さんとか云ふ立派な金主がついてゐりや、こんな貧乏な五兵衛なんぞに用はありますまいよ……』

五吉衛は皮肉な言葉を浴せて、立ち去らうとした。

『信濃屋の、お前、おれがおとなしく言つてゐるのをおれなんかを相手にしねえで歸る氣なのかい？金も出さずに、この手ぇ無事で三島町まで歸れると思つてゐるんですかい！』

一造の聲は、荒くなつてゐるのであつた。

『こんな奴！何が出來るまいか、と五兵衛に、小馬鹿にし後も見ずにスタ〳〵歩き出した。

『ヤ！手前はつんばうなかっ！』

云つたな思ふと、一造の手は五兵衛の襟がみにいつた。

『何をするんだい。お前さんなへかに、襟がみを取らやうなことはないんだ……』

この聲を聞くと、

『何をこの野郎奴！』

と、一造の拳固は五兵衛の横面を思ひ切つてひつぱたいた。

不意の襲撃に思はず持つた提灯を投げ出して、兩手で打たれたところを押へた

弱氣を出すと逆につけ込まれるもんだ！よく覺えてゐろ！』

と、ぶつきら棒に答へたが、それでも梅吉を一緒ではないかなと思つて、その樣子を覗つた。

どうも一人らしいと直感した。

『わつちですよ。一造なんて、丁度好ところで會つたもんだ！これから前さんのところへ行かうと思つてゐたところなんで』

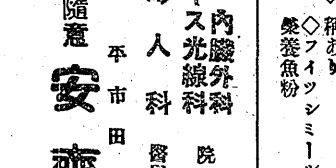
『一造さんだね？何か御用ですかい？別にわたしにも

アルバムでしたら
全國印
全國印アルバムの感覺
新鮮な圖案
全國印アルバムの堅牢
な裝幀
全國印アルバムの嚴選
せられた紙質等を
實物に就いて御覽下さい
只今數十種入荷いたして
居ります氣のきいた御贈
答用品として好適です
全國アルバム
全國コーナー
特約店 魁文堂
【電話313番】

天氣豫報
小名濱測候所調査
今晩　北東の風雨
時々晏
明日　同じ

秋　十月新譜レコードだより
洋樂ハ
ビクター
交響曲五番ベートウエン　一五、四〇
ウエバーアルバム　五、五〇
コロムビア
想曲のダンスアルバム　九、九〇
軍隊交響曲ハイドン　一一、五九
流行歌デハ
コロムビア
純情二重奏　霧島
ビクター
馬と兵隊　楠木
ポリドール
築地明石町　東海林

ラヂオはビクター　コロムビア
金光堂時計店
電話一九五

メガネ專門の店

メガネは絶對信用ある當店に
先づ御相談下さる……
玉屋
平市本町二丁目

私は平市出身ですから特に鄉里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄
東京上野驛前
下谷郵便局横通角
電話下谷（4）六七七番
合名會社 松本商店

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者　強口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

產婦人科專門
平市南町
根本醫院
（入院隨時）　電話三四番

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時　院長醫學士　金森五郎

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話五八番）
藤田女學校前

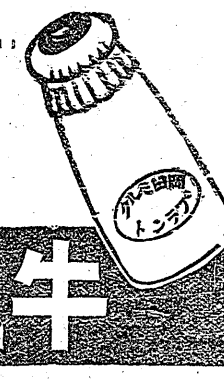
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木政一
內鄉村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

故障の起らぬ
ラヂオの口原
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

重田眼科
平驛前通り　元貯蓄銀行跡
眼鏡檢定一般
醫師　重田景治
平市田町一番地

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイプスピライト養成所
森藤
電話三七〇
替仙臺一五
（森藤印刷物は會商用）

只今入荷
金鵄印
天然バター
金鵄ミルクの北海道札幌工場製の
天然バターです。
天然バター品薄の折柄是非御用命下さい
½ ポンド　¼ ポンド詰
西村屋藥局
電話3番

伸びよ太れよ
牛乳飲んで
平市鎌田町
電話五一

低温殺菌
西田牛乳

藥品飼料
各種養劑
加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多產種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平產業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
內鄉村境（平市外）
出張所　平驛前　電六四八番
分讓所　東京市淀橋區下落合
北里研究所製
ジステンバー豫防液
東亞製藥所製
綜合ビタミン劑
ヴイベリン末
（動物わかもとの稱あり）
フイッシミール
榮養魚粉
病理研究、診療
榮養劑の配劑
飼育指導の需に應
擔任技師　獸醫師

外科、內臟外科
エツキス光線科
產婦人科
平市田町
院長　安齊徹
醫學士　小松千秋
入院隨意
安齊醫院
電話四七五番

市内の一部商人に 反省を促す物價停止令
相當の響き豫想さる

市内の物價は平署經濟保安係の熱心な指導督勵に對し各方面から擧げられた調査ゐ導員の活動が未だ表面化せる何物も無く、而も歐洲戰亂の勃發は窮爾たる地方の小都市にも影響して物價騰貴は更に一段の拍車をかけらるるに至つたので之が爲め別段生産條件の向上無き中産以下就中一部勤勞生活者などから大に今後の動向を氣遣はれてゐたが此程決定された國家總動員發動に因る價格停止令は、統制對策が思ふやうに捗どらぬ物價の歩調を緩める爲一部の反對意見を押し切つて早急に一般物價引上禁止と云ふ最後の手を打つたものだけに、當局の監視と當業者の自覺から他に比して著しく違反件數の少かつた平地方とは云へ、未だ必ずしも自肅の徹底を望み得ぬ場合あるべき現勢にある以上、今回全商人の上にかかつた値下げストップは地方にも可なりの響きを見せ隨つて或る階層の懐ろ具合にも一脈の明るさを點ずるものと豫想される

該當者が頗る多く 地方の關係重大
俸給賃銀据ゑ置き

物價停止令の實施に當り縣工場課では管下鑛山、工場會社等關係者の俸給引上げ賃銀割增等に對しても嚴重に監視すると共に近々中にこれが取締に乘出すことになつた、隨つて之等に對しては向ふ一ケ年間は適用されるわけなので法の適用範圍外にある官公吏に比して一寸憂鬱縣下の該當約三十萬人中炭礦その他工場等に約數萬人の此種階級を擁する石城地方の影響は一番大きく之等の人達が張切つて華やかなボーナスも昇給も一年間は足踏みしなければならぬといふわけで駈足で行つた物價を追ひかけるに又一苦勞がますわけである

平署取締りに乘出す

平署では前記物價、運賃、賃金等引上げ禁止の總動員法發動と共にこれが取締りに乘り出すこととなり今二十一日朝全署員に訓示し活動を開始した

平署に警部補配置

縣下各署中從來經濟警察の主任に警部補を置いたのは郡山署丈けであつたが近く平署も之に改める事になつた

勞務對策研究委員
地方關係四名參加

職業協會では過般より計畫中であつた同會の諮問機關となる鑛業專門委員會の委員を決定しいよいよ本格的に鑛山勞務者の需要供給の圓滑化を計ることになつた同委員は先づ來週中に第一回の會合を行ひ各々專門的立場から鑛山勞務の事情に即した檢討審議をなすのでありこれらの審議に依つて具體的方針が確定すれば厚生省職業部を通じて勞務對策に乘り出さしめる現下の逼迫せる鑛山勞務者動員に重要性をもつ委員會で地方關係として左記諸氏が委員に加はつてゐる

(常磐石炭礦業會)清宮一郎(磐炭)小島良利(入山)中屋則正(古河)杉山駿

海軍兵募集
資格年令決る

横鎭では明年左記海軍志願兵を採用する

△水兵、航空兵、機關兵工作兵、看護兵、主計兵(大正八年十二月三日から同十三年十二月二日生れのもの)△掌電信兵、偵察練習生(大正十年十二月三日から同十四年十二月二日生れのもの)△乙種飛行豫科練習生(大正十一年十二月三日から同十四年十二月二日迄)△軍樂兵(大正九年十二月三日から同十三年十二月二日迄)

橋本知事 來郡日程

既報、新任橋本知事の來郡日程左の如し

△二十二日 鮫川疏水、植田署(零時五〇分)植田町役場、小名濱水産講習所、同築港、測候所、同町役場、中ノ作漁港、江名漁港、豊間回春園、豊間漁港、平市(午後四時五〇分)平署舊城跡等を視察し同夜は住吉屋本店泊

△二十三日 午前八時半發平市役所、裁判所、磐中、磐女、平土木監督所、四倉署、四倉町役場、同漁港、久の濱へ

選擧は漸く末期戰へ
中央の大ものを應援辯士に迎へ 物凄い掉尾の言論布陣

平靜を取り戻されたホロンバイル戰線と異り地方の選擧戰は愈よ中三日の目睫に迫つて各陣營の帷幄深く練られた文書、言論等、等の多角的戰法は在所に決勝點直前の物凄い火花を散らしてゐるが殊に言論戰に在つては既報の如く三寸不爛の舌部隊が候補者以下悉く傷ましくも嗄れ聲を絞り、晝夜休み無く健闘を續けて尚は足らず、夫々中央の大ものを迎へて玆を先途と最後の舌戰に入つたかたちである

該當者斡旋の爲 工場會社と懇談
平紹介所の實施事項

銃後强化

平職業紹介所では來月三日から九日迄實施される國民精神總動員銃後後援强化週間に際し戰歿、傷痍、歸還及び出征各軍人への感謝の念を昻揚し遺家族援護の思想を涵養する目的で專らこの方面に主力を注いで週間の趣旨を徹底化することとなり來る二十八日頃管内工場、會社、炭礦側代表を招いて該當就職者優遇につき協力を求めることとなつた

尚同所では週間中同所扱ひの勤續者を表彰するため目下該當者を調査してゐる

小學兒に雇入制限令
實施をまつて職業指導

同所明春の卒業兒斡旋準備は今月から先づ兒童並に父兄の職業指導から始める豫定であつたが既報雇入制限令が兒童にも愈よ來月中に實施の見込みである旨縣當局からの通牒でその實施をまつこととなり目下既往成績分布圖の作製其他準備を進めてゐる

右制限令は他の時局立法同樣軍需工場、會社其他銃後産業指定の重要部門に志すものはすべて紹介所を經、指定外に就職の場合は紹介所長の認可を要するもので、ここによつて從來の爭奪戰はなくなるわけである

前線に劣らぬご奉公
銃後美談集纒まる

前線の勇士にも劣らぬ銃後民の涙ぐましい活躍が此の程縣當局から『銃後美談集』として内務省に報告されたが地方關係分左の如し

△高木敏正氏外百五十七名(植田町小學校)町内から廢品回收をした代金を國防費へ

△久保木安雄氏(渡邊村)歸還後銃後活動に感謝諏訪神社に二百二十圓を參道建設奉納

△大森國防婦人會員(山田村)廢品回收代金を恤兵金へ

△佐川亦吉氏(山田村)長男出征後六十七才の老齡で活躍、扶助金も『子供の澤山ある人にやつて下さい』と拒絶

ユリ子ちやん溺死
變り果てた愛兒の姿に 泣き崩れる母親！

既報、去る十六日晝お母ちやんのお針してゐる一寸の間に姿が見へなくなつた例の赤井村高萩水車業草野茂さん長女ユリ子ちやん(生後一年九ケ月)の行方については警察署や地元警防團等が懸命の捜査、當つたが見當らず殆ど絶望視されてゐたが五日目の昨二十日夜に至り小玉川下流で溺死體となつてゐるのを部落民が發見、變り果てた吾兒に泣き崩れる母親の姿は附近民の涙をそそつた

自肥改善 論文募集

東京市赤坂區溜池一大日本農會では自給肥料革新的改良方法の研究論文を懸賞募集中(略歴を添付)〆切り明年一月末入賞者三點以内に各賞金二百圓を授與する

高田中尉市葬
廿八日公會堂で

市では市内鎌田町出身故歩兵中尉高田孝君の市葬を二十八日午後一時から市公會堂で執行する

盲生から慰問袋

市内堂の前磐城訓盲院生徒杉幸子さんは慰問袋一個を市銃後奉公會へ

陣中を聽く
……………(468)……………

郷士の御慰問使に お會ひ出來ず殘念
市内中町出身 中山武雄君（通信）

銃後の皆々樣の御活動は新聞紙上其の他にて拜承洵に感謝に堪ねさる次第に御座候。殊に貴下に在らせられては炎暑の中を態々現地に御慰問下され候段有り難く重ねて御禮申し上げ候、當時自分等も漢口に待機中に有之候へしがひ御面接の機を逸し洵に殘念致し候、後日聞知しいたしたる次第に御座候。當時は中々の暑さの爲め何程か御辛勞の事と被存候、でも今年は例年に比較し十數年來の涼しさの由に有之候、本格的の暑さは如何やと案せられ候、即ち蒸雀の炎暑の由に御座候。

自分等の部隊も本月上旬迄待機中に有之候へしも過般○○部隊の一部に配屬せられ○○を去る十數里の山岳地帶の討伐に參加致し候短期間に有之候も山岳地帶と暑さの爲め幾分苦辛致し候へ共山、山の間に珍らしく流れ川あり大いに助かり申し候、御承知の如き惡水のみなれば生水は到底飲む事出來不申此の點が一苦勞に有之候。

又或時等は夜行軍を續行し朝食の大休止を川邊にて爲したる爲め、大半は川に飛び込み水泳中前面、側面の山上より一齊射擊を受け由候、直ちに之に應戰し擊退致し候へ共一時は一寸驚き申候、人馬僅かに負傷はありたるも幸ひ一同無事に終了致候、而して又元の宿舍に戻り目下待機中に御座候。自分も御陰樣を以て毎日至極頑健にて與へられし任務に精勵罷り在り候間乍他事御休心被下度候、蔣政權に對し最後の止めをさし東洋永遠の平和の爲めに大いに頑張り可申候。

乍末筆皆々樣の御健康を遙かに御祈り申し上げ候。

二十六日　○○にて

武雄

縣會議員候補者一覽表
『よき人を擧げて、銃後の御奉公』

氏名	年齡	職業	事務所	事務長
◇平市（定員一名）				
野崎滿藏	(五九)	自動車業	市内田町	山野邊發政
關内正一	(四五)	油業	市内三丁目	多田井笑次郎
◇石城郡（定員六名）				
蓮沼龍輔	(四八)	新聞業	市内田町	渡邊清
齊藤晃	(三八)	味噌醬油	湯本町	高木秀雄
木村守江	(四〇)	醫師	四倉町	門馬倉次郎
萩原義雄	(五二)	齒科醫	市内鍛治町	吉田寅之助
草野三郎	(七〇)	農	市内才槌小路	鈴木盛之助
大井川正己	(三七)	雜貨商	湯本町	平子玉男
小野晉平	(五五)	酒造業	小名濱町	水野政次郎
蛭田虎次郎	(五九)	製材業	湯本町	渡邊渡
坂本龜太郎	(五八)	味噌醬油	植田町	成瀬巴三
赤津庄兵衛	(四五)	味噌醬油	植田町	山崎登

土木工事入札

平土木監督所では二十二日午前十一時から左記土木工事の入札を行ふ(カッコ内工期)

△蛭田川、勿來町白米字濱町(五十七日)

平市慶弔錄

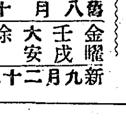
○婚姻 安積郡片平村樋口一四吾妻公壽さん(三一) 白銀町四五安齋經子さん(二〇)

▲死亡 本籍南町七二横濱市中區本牧三ノ六四七齊藤新七さん(五六)

二十二日
【小名濱測候所觀測】

滿潮 前—— 後七、四五　干潮 前—— 後一二、四五

舊八月十日　新九月二十二日　金曜　壬戌　大安　除　牛宿



▲一白 小成に安んじ易くして持續心に乏しき日なり▲二黒 文書は餘程注意せざれば變を發すことあり▲三碧 小利にくらみて大勢を誤ることあり出納注意▲四綠、基礎を固め捗らぬともねばり强くするが吉▲五黄 思はず知らず無理心の生ずる日注意すべし▲六白 正しき道に依れば何事も通達する强運の日▲七赤 商事は目上に謀りて違算なき樣注意すべし▲八白 平和を祈れば無事なれども進展は望めぬ日▲九紫 待ちに待ちたる甘露の日和となるべき吉日

夜間診療
胃腸性病
內科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
(平市南町電一〇七番)
(見習看護婦募集)

おでん
たつた揚
やきとり
一平
電話二六三番

難波醫院
內科
小兒科
入院應需
自炊の便あり
平市大町
電話五〇二番
(看護婦見習、看護婦募集)
醫學博士 難波睦

開業廣告
▼物理療法 內科 小兒科 專門
診療時間 自午前八時 至午後六時
平市五丁目二
額賀醫院
(元平松宅)

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下電六七四

募集
永續者には將來の保證を致します

ボーイさん	◇堅實な營業方針の サロンのお客樣は當地一流の方々です ◇色々な方に接することが 社交儀禮の實際に學び 成功の糸口ともなります
調理見習婦人	◈評定あるサ ロンの調理法を御傳授いたします ◈見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る

◈14歲以上30歲迄の健康な方
◈3年以上勤續出來る方
◈親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
サロン
電話529

たひらみやげ
御家庭の皆樣が、御茶の友として
急度御氣に召す米屋の
風味豊な ツブシ キントン 最中
平市停車場通り
最中專門店米屋